



ROSE SHOPのこだわり

高品質で稀少な生花のバラ

世界最大の花市場オランダのアールスメア市場より空輸で取り寄せたバラ。オランダのバラは高品質で、途中で首が垂れることなく花弁が散る最後までしっかりと開花します。青バラやレインボーローズは特殊な染色技術により「葉」はカリカリしていますが、お花は大輪の花を見事に咲かせます。

オランダ以外にも、コロンビア・エクアドルなど世界中から高品質な花がほぼ毎日入荷。国内の花市場からも上質な花を取り寄せています。



世界が認めるプリザーブドフラワー

高級プリザーブドローズのブランド「アモローサ」、厳しい品質管理で有名な「フロールエバー」など一流のプリザーブドブランドのプリザーブドフラワーを更にROSE SHOPで厳選してギフトに。中にはダイヤモンドパウダーを施し、本物の輝きを放つバラも。独自の技術でメッセージを刻印したBOXなどに収め世界で一つだけのプレゼントをご提案。

染めバラについてのご注意

ROSE SHOPの染めバラは特殊な染料を使っています。衣服などについてしまうと落ちにくいので、お取り扱いには十分ご注意ください。もし、衣服についてしまった場合は、すぐに信頼できるクリーニング店で、染み抜きをしてもらってください。なお、染料は無害ですので、皮膚などについてもご心配ありません。万一、染料を飲み込んでしまった場合、迅速に医師の診断を受けてください。

特殊染料を使用している主な花

- 青いバラ ●レインボーローズ ●レインボーローズオーシャン
- レインボーガーベラ ●青いガーベラ ●レインボーカーネーション
- 青いカーネーション ●カラーかすみ草 ●レインボーチューリップ など…

思い出の花束を100倍楽しむ 5つのポイント

お花が 届いたら 最初にする事

茎にはお手元に到着後約1日分の保水をしてお届けしています。ラッピングはなるべく早めに外して花瓶に生けてお楽しみください。(到着後翌日にプレゼントする場合には到着した花束の状態のまま、涼しい場所で保管してください。)

水切り

お水を張ったバケツなどの中で「水切り」をします。「水切り」とは水中で茎をカットして水圧でお花に水を吸わせる方法。水中で茎を斜めにカットしてすぐに花瓶に入れましょう。

キレイな水

清潔な花瓶に、たっぷりとお水を注ぎます。(ガーベラの花束だけは茎の下5cmほどが水に浸る程度の水の量がベスト。) お花を長く楽しむには水の中にバクテリアが繁殖しないようにすることが大切。夏は毎日お水を取り替えてあげると良いでしょう。

飾る場所

生花にとっての最適温度は10度。直射日光を避けて出来るだけ涼しい場所を選んで飾ると長く楽しむことができます。エアコンの風が直接当たるような場所は避けて飾ることがポイント。

ドライ フラワーに するコツ

満開に開花する前(8分咲)になったら、水から出し、茎を輪ゴムで花同士が重ならないように束ねます。乾燥すると茎が縮むので輪ゴムが最適。束ねたバラは風通しの良い日陰に逆さまに吊るし、しっかり乾燥したら出来上がり。出来上がったドライフラワーは直射日光が当たらない乾燥している場所でお楽しみください。

プリザーブドフラワー&ドライフラワーを 永く楽しんでいただくポイント

枯れない本物の花 プリザーブドフラワー

プリザーブドとはフランスで生まれた製法で「保存した」という意味。生花を特殊技術でプリザーブド加工した本物の花。まるで生花のような質感とボリュームが特徴です。

- ・水、肥料、日光は不要です。
- ・熱を持つ電化製品の上や湿気のある場所、直射日光が当たる場所を避けて飾ってください。
- ・埃はドライヤーの微風で優しく取り除いてください。

思い出の花をいつまでも ドライフラワー

ROSESHOPの良品な生花を1輪ずつプロの技でドライアップ。1輪ごとの個性を楽しめるところが人気。記念のお花を永い間お楽しみください。

- ・水、肥料、日光は不要です。
- ・熱を持つ電化製品の上や湿気のある場所、直射日光が当たる場所を避けて飾ってください。
- ・容器は密閉されています。お花の劣化を早めてしまうので絶対に開けないでください。
- ・紫外線や酸化により、稀に、退色・変色することがあります。
- ・激しく揺らすと落葉・落花することがあります。ご注意ください。

フラワーアレンジメントを長く楽しむ 4つのポイント

お花をもらったから最初にする事

アレンジメントを包んでいるセロファンを外します。そのままにすると、お花が蒸れて傷みやすくなります。

お水のあげ方

器に手を入れて水の量を確認します。水は、常に器の中にとっぷり入っているように、毎日キレイなお水を足してください。

飾る場所

エアコンの風が直接当たる場所、日光が直接当たる場所は避けてください。適正温度は10度。なるべく涼しい場所を選んで飾ると長く楽しめます。

お花のお手入れ

花や葉が傷んできたら、丁寧に取り除いてください。茎だけが傷んでいる場合は、傷んでいる箇所から下を清潔なハサミで斜めにカットして挿しなおしてください。お花が少なくなってきたら、花首だけをお水に浮かべて楽しむこともできます。